

# 教材は貴重な収蔵品



## 美術工芸資料館 (綾ヶ崎キャンパス内)



2階の窓からは  
比叡山を見える

## 匠者のポスター・コレクション



授業で触れた作品  
見に行こう

本学には美術工芸資料館があります。本学の学生は学生証を提示して、無料で入館することができます。一年を通じて、時期や学内事情などにより予め企画された展示会が開催されます。美術工芸資料館は、展示会を開催するだけでなく、学芸員資格を目指す学生を中心に、学芸員資格を持つている方の実践的な教育の場としても活用されています。

西部構内の中央西門を入って、正面奥に立つ茶色のタイル張り建物が美術工芸資料館。1980(昭和55)年、収集されてきた多くの美術工芸資料を調査研究、整理、展示公開するための学内共同研究施設として設置された。収蔵品は、4千点に及び、絵画、彫刻、陶器、ポスター、工芸品、建築模型など、分野は多岐にわたる。『整の中で』の教授も、この作品群の中の一つ。学内にこうした施設があるのは、工芸学部デザイン経営工芸課程で学ぶ野野原さん(20)が、1980年代に足元を、収蔵品の中核となるのは、フルール・ボア(1)のさながらに制作

された工芸部ポスターなど、た建築家田五二(二)といった教授を務めた大田氏が、欧州から多くの工芸品などを移して持ち帰った。もともと目的が教材のため、収集は美術・工芸の名品であることが条件で、ユニークなデザインになっていく。ポスター・コレクションは、現代のヨーロッパのポスターも明治以降の日本引き、ポスター、チラシなど、作品資料として登録されているだけで、未登録のものも含めると、数倍とも

## 4万4千点、オールヌーボー期象徴

なという。ロートレックを当時はやっていたフランスのポスターや作家の作品をほぼ同時期に入ってきた。ティウワン・ジャンネ(三)など、ロートレックの作品の中でも非常に早い時期のものだ。館の並木謙士(四)工芸科学研究所長(5)は、オールヌーボー(6)の作品を、具体的な作品がまとまった資料群として登録されているものと、非

京都工芸繊維大の松ヶ崎キャンパス(京都市左京区)にある美術工芸資料館。19世紀の終わりから20世紀初めにかけて、欧州を中心とした新しい芸術運動「オールヌーボー」当時の貴重な工芸品が収蔵されていることで知られる。デザインを学んでいる学生の「もう一つの学び」であり、大学の歴史を伝える施設でもある。

## 16日から3展覧会 ふらっと立ち寄ってみては?

美術工芸資料館ではポスター・コレクションや建築に関する展覧会を開いている。16日からは「ハンガリーのデザイナー ジョルナイ(一)の陶磁器と漆器ポスター」。「探訪の新たな姿 彫刻 明治期における陶磁器展(二)」。「第13回 村野藤吾建築設計展 村野藤吾の住みデザイン(三)」を予定。さらに2015年のオリジナル招致と関連して、「日本は過去のオリジナルポスター(四)の展示も企画 중이다。また、1階に展示されている、武上山(五)は、建築に関する展覧会を開催している。東宮御所の復元プロジェクトとして制作された展覧会の作品、復元の進捗の中にも、これは天気の悪い日には、加えてこれに関する一連の制作群は、制作過程を示す貴重な資料となっている。図案の学生たちも、展示された作品は、形を覚えながら、現在の学生たちの教材として活用されている。ふらっと立ち寄って、学生たちが学んだ作品の数々を眺めてみるのも、面白いかもしれない。



浅井安(1860-1900) 京都工芸繊維大博物館広報課提供

【開館時間】 午前10時～午後5時 (入館は午後4時半まで)  
【休館日】 日曜・祝日  
【入館料】 一般200円、大学生150円(工芸大生及び京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生は学生証提示で無料)、高校生以下無料

京都工芸繊維大学  
広報チーム  
K-NOSBY

今週の記者  
工芸科学部  
3年 津田 研(21)  
1年 岡田 楓(20)  
1年 岸田 彩花(19)

うちのプロジェクト  
京都工芸繊維大の魅力を生かして、世界や日本、世界の知名度向上やアランド価値を高めることを目指し、2013年7月に結成しました。大学公式のフェイス

ブックやツイッター、LINE(無料通信アプリ)で大学の様子や季節感のある周辺情報を発信。高校生に向けた大学紹介紙の制作や他大学の広報団体との交流などもしています。